

# 103-316

## 問題文

保険薬局で保険薬剤師が、先発医薬品から後発医薬品への変更調剤などを行う際の留意点及び患者への説明内容について確認した。

### 問316

変更調剤などを行う際の留意点に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。ただし、後発医薬品へ変更が可能な処方箋を応需した場合とする。

1. 一般名処方では、先発医薬品の調剤を優先する。
2. 銘柄名処方の後発医薬品は、別銘柄の後発医薬品には変更できない。
3. 外用薬は、クリーム剤から軟膏剤のように剤形を変更することができる。
4. 変更する際は後発医薬品の適応症を確認する。
5. 変更調剤した薬剤の銘柄について、処方箋を発行した保険医療機関に情報提供する。

### 問317

後発医薬品へ変更する場合の患者への説明内容として、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 先発医薬品に比べて開発費が低く、薬の価格を安くすることができる。
2. 添加剤は先発医薬品と異なることがある。
3. 後発医薬品の薬価は、同一成分同一規格であれば、どの会社の製品でも同じである。
4. 臨床上の有効性・安全性が先発医薬品と同一であることが確認されている。

---

## 解答

問316：4, 5問317：1, 2

## 解説

### 問316

選択肢 1 ですが

一般名処方では、先発医薬品、後発医薬品 どちらでも調剤できます。どちらかを優先する ということはありません。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

銘柄名処方の後発医薬品 は、別銘柄の後発医薬品に変更することが可能です。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

類似別剤形への変更は、試験時点において外用剤は不可です。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4,5 は、正しい記述です。

以上より、正解は 4,5 です。

### 問317

選択肢 1,2 は、正しい記述です。

選択肢 3 ですが

同成分同規格について、いくつかの後発医薬品がある場合があり 薬価も異なる場合があります。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

後発医薬品において確認されているのは、生物学的同等性です。 よって、選択肢 4 は誤りです。

以上より、正解は 1,2 です。